

【別紙様式 3】

再評価実施事業調査書

番 号	5	事 業 名	社会資本整備総合交付金 (港湾事業)			路線又は箇所名等			木更津港海岸 木更津地区		
事 業 所 管 課			港湾課			事 業 主 体			千葉県		
事業化年度	平成 10 年度		用地着手年度	—		工事着手年度 工事完了年度	平成 10 年 ～令和 15 年度		再評価の理由		再々評価
費用便益比 B／C	6.4 (12.6)		総費用	137 億円 (69 億円)	総便益	870 億円 (864 億円)	基準年	令和 6 年度	供用開始 年度	令和 16 年度	

※上段：全体事業 下段（ ）：残事業

【事業概要】

(目的)

木更津港海岸木更津地区における高潮対策事業として、陸上自衛隊木更津駐屯地の背後から、君津市との市境までの延長約9.2 kmにおいて、海岸保全施設の新設・補強等を図ることで、高潮・津波による浸水被害を防止する。

(主な事業内容)

総事業費 101 億円

整備延長 L=9.2 km

排水機場 2基、水門 3基、樋門・樋管 4基、陸間 18基、

胸壁 L=1,805m、護岸L=7,201m

【事業の進捗状況】(R06 年度末見込み)

	全体計画	投資事業費	残事業費	進捗率
事業費(億円)	101	26	75	25.3%

【社会経済情勢等】

木更津港海岸木更津地区では、平成8年9月には台風17号による高潮と豪雨により、261戸（一部破損28、床上浸水32、床下浸水201）の家屋で床上や床下浸水被害を受けるなど、これまで高潮による浸水被害を受けており、早急に整備する必要がある。

平成23年3月11日の東日本大震災では、木更津市沿岸部にも津波は来襲しており、地震や津波対策に対する要請は一段と高まっている。

高潮による浸水想定区域内には市役所、消防署、警察署、JR木更津駅などの公共施設があり、また近年では木更津港を中心とした地域の再整備が図られるなど、浸水した場合の社会的影響が極めて大きい。

【対応方針（案）】

木更津港海岸木更津地区は、全体事業の費用便益比(B/C)が6.4（残事業12.6）であり、事業の投資効果が見込まれる。

本地区において、高潮対策事業を実施しない場合には、甚大な被害が生じることが予想される。

このため、高潮に対する天端高不足を解消するとともに、耐震対策を推進し、早急に浸水被害からの防護を図る必要があるため、今後ともコスト縮減と効率化に努めながら事業を継続したい。

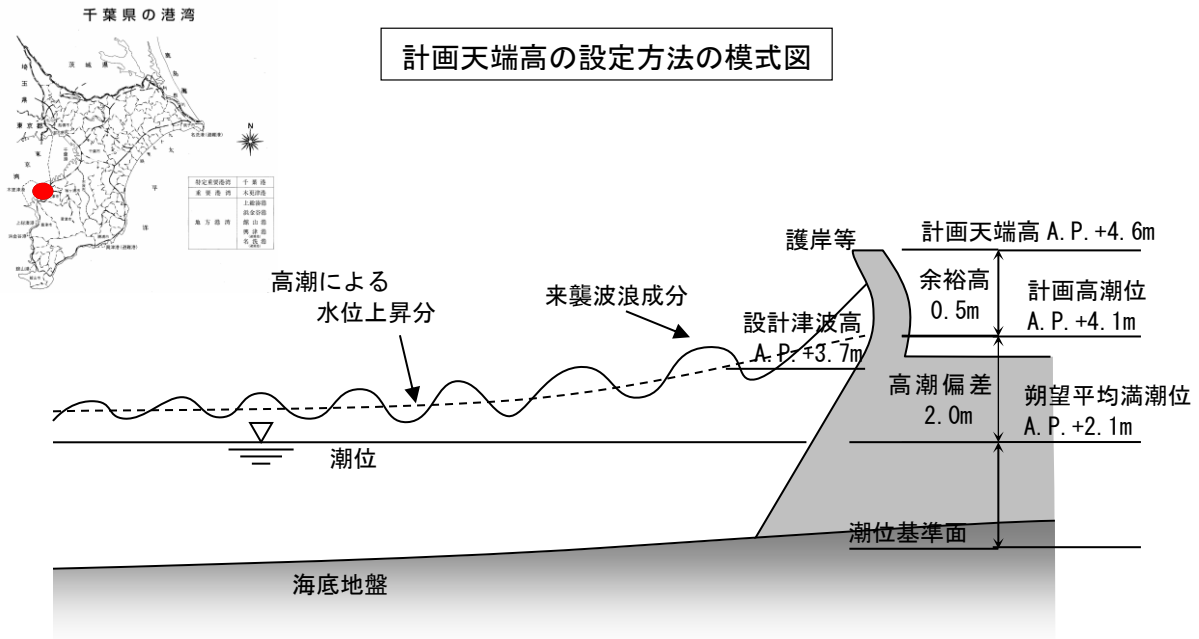
(計画高潮位A.P.+4.1mに満たない未整備箇所を優先して整備する。)

【別紙様式 4】

事業概要図

番号	5	事業名	社会資本整備総合交付金 (港湾事業)	路線又は箇所名等	木更津港海岸 木更津地区
----	---	-----	-----------------------	----------	-----------------

事業箇所図



木更津港海岸高潮対策事業区域図



【別紙様式 5】

再々評価事業に関する調書

番 号	5	事 業 名	社会資本整備総合交付金 (港湾事業)		路線又は箇所名等	木更津港海岸 木更津地区
事 業 化 年 度	平成 10 年度	用地着手年度	—		工事着手年度	平成 10 年度

【再々評価（R01 年度）の概要】

再評価実施年度 (基準年)	令和元年度	供用開始 年度	令和 16 年度	対応方針	継続
B／C	4.4 (8.0)	総費用	109 億円 (60 億円)	総便益	483 億円 (478 億円)

(※上段：全体事業、下段（ ）：残事業)

再評価時の委員会の意見及び当時の状況
○継続することが妥当である。

再評価時の進捗状況及び再評価時想定 of 5 年後の進捗状況

	計 画	進捗状況	5 年後の推定進捗状況
全体事業費	101 億円	25 億円 (24.7%)	44 億円 (43.2%)
うち用地補償費	—	—	—

【再々評価（R06 年度）の概要】

再評価実施年度 (基準年)	令和 6 年度	供用開始 年度	令和 16 年度	対応方針	継続
B／C	6.4 (12.6)	総費用	137 億円 (69 億円)	総便益	870 億円 (864 億円)

(※上段：全体事業、下段（ ）：残事業)

現在の進捗状況

	計 画	進捗状況
全体事業費	101 億円	26 億円 (25.3%)
うち用地補償費	—	—

再評価後の
経過
及び
処理状況

- ・平成23年3月11日の東日本大震災では、木更津市沿岸部にも津波は来襲しており、地震や津波対策に対する要請は一段と高まっている。
- ・高潮に対する天端高不足を解消するとともに、地震・津波に対する耐震対策を推進し、早急に浸水被害からの防護を図る必要がある。